

2026年3月期 第3四半期 決算補足説明資料



株式会社コア
2026年1月29日

決算概要

決算概要

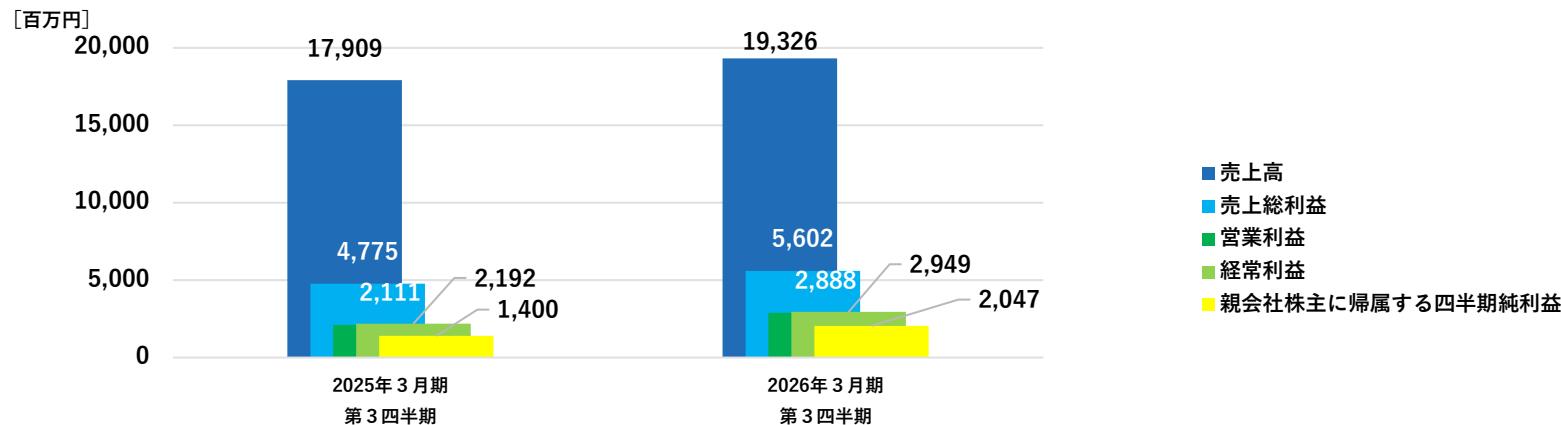
決算概要 前年比で增收増益を達成

科 目	2025年3月期 第3四半期		2026年3月期 第3四半期	
	金額	前年比	金額	前年比
売 上 高	17,909 百万円	103.3%	19,326 百万円	107.9%
売 上 総 利 益	4,775 百万円	100.6%	5,602 百万円	117.3%
営 業 利 益	2,111 百万円	95.1%	2,888 百万円	136.8%
経 常 利 益	2,192 百万円	96.4%	2,949 百万円	134.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,400 百万円	89.0%	2,047 百万円	146.2%
受 注 残 高	7,999 百万円	96.4%	8,382 百万円	104.8%

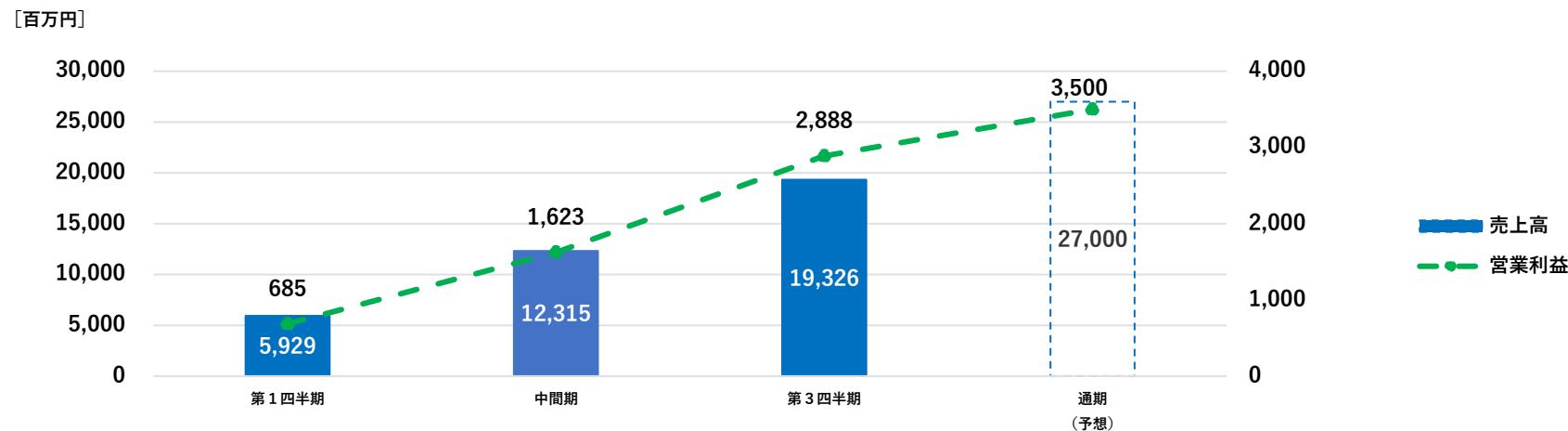
決算概要

決算概要

前年同期比



2026年3月期の連結業績



決算の増減要因

売上高

↑ 前年比107.9%



要因

未来社会

公共Solにおいて官公庁向けシステム開発が伸長



要因

未来社会

エネルギーSolにおいて電力会社向けソリューションが伸長



要因

産業技術

IoT(AI) SolにおいてIT点呼システム「Cagou IT点呼」及びメーカー向けソリューションが伸長



要因

産業技術

メディアSolにおいて放送業界向け映像ソリューションが堅調



要因

産業技術

その他のSol分野においてもソリューション案件が全体的に伸長



要因

産業技術

音響機器や半導体関連装置に関する開発業務が堅調



要因

顧客業務

運送会社向けシステム開発の案件縮小

営業利益

↑ 前年比136.8%



要因

未来社会

エネルギーSolにおいてソリューション案件が増加したことにより利益拡大



要因

未来社会

医療Solにおいて前期に発生した不採算案件から回復基調



要因

産業技術

IoT(AI) Sol、メディアSolなど全体的にソリューション案件が増加したことにより利益拡大

事業区分別の業績

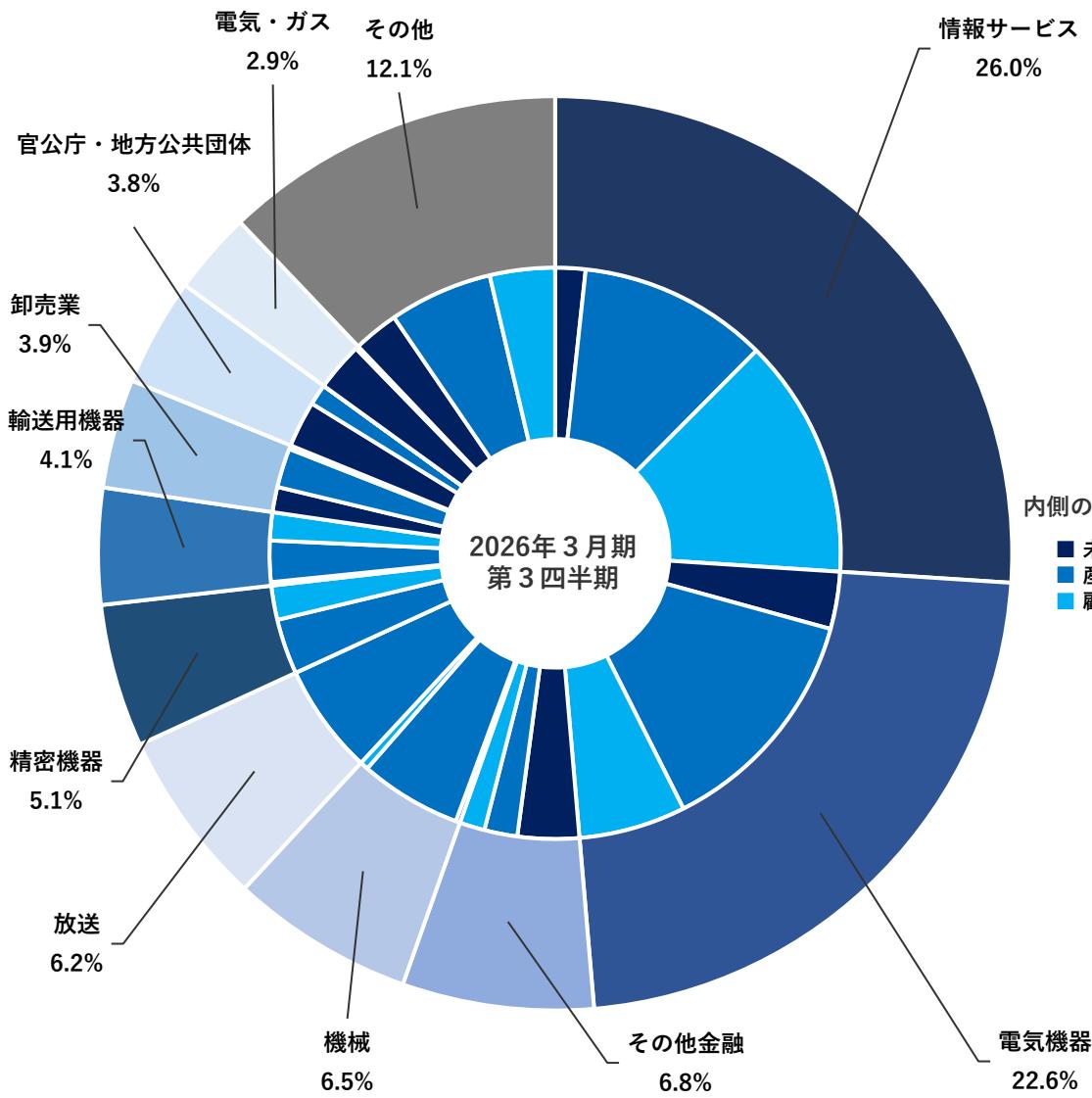
		2025年3月期 第3四半期		2026年3月期 第3四半期	
		売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
未来社会ソリューション事業	公共Sol	1,138 百万円	478 百万円	1,369 百万円	473 百万円
	医療Sol	264 百万円	△317 百万円	368 百万円	12 百万円
	エネルギーSol	1,128 百万円	377 百万円	1,379 百万円	490 百万円
	その他 Sol	707 百万円	222 百万円	555 百万円	162 百万円
	合計	3,238 百万円	761 百万円	3,672 百万円	1,138 百万円
産業技術ソリューション事業	IoT(AI) Sol	984 百万円	331 百万円	1,549 百万円	530 百万円
	メディアSol	1,269 百万円	327 百万円	1,481 百万円	447 百万円
	宇宙テックSol	298 百万円	108 百万円	383 百万円	127 百万円
	DXインサイトSol	302 百万円	84 百万円	412 百万円	119 百万円
	その他 Sol	5,797 百万円	1,773 百万円	6,244 百万円	1,963 百万円
合計		8,652 百万円	2,625 百万円	10,071 百万円	3,189 百万円
顧客業務インテグレーション事業		6,018 百万円	1,388 百万円	5,582 百万円	1,275 百万円

決算概要

連結貸借対照表

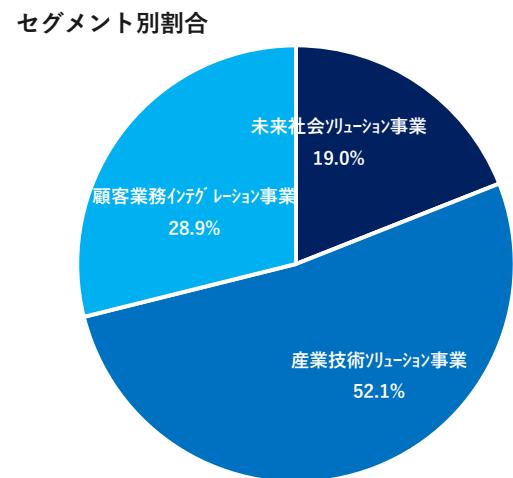
	2025年3月期		2026年3月期 第3四半期	
	金額	前期末比	金額	前期末比
流 動 資 産	16,386 百万円	109.4%	17,253 百万円	105.3%
固 定 資 産	8,771 百万円	98.4%	9,555 百万円	108.9%
資 産 合 計	25,157 百万円	105.3%	26,809 百万円	106.6%
流 動 負 債	5,996 百万円	96.0%	6,148 百万円	102.5%
固 定 負 債	629 百万円	97.9%	788 百万円	125.2%
負 債 合 計	6,625 百万円	96.2%	6,937 百万円	104.7%
純 資 産	18,532 百万円	109.0%	19,872 百万円	107.2%
負 債 ・ 純 資 産 合 計	25,157 百万円	105.3%	26,809 百万円	106.6%

売上高の業種別割合



内側の円グラフ内訳：

- 未来社会ソリューション事業
 - 産業技術ソリューション事業
 - 顧客業務インテグレーション事業



中期経営計画の進捗状況

中期経営計画へのとりくみ状況

事業戦略

人材戦略

財務戦略

単位：百万円

未来社会	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年比	
	売上高	139	546	391.7%

● 政府、自治体における生成AIニーズの急速な高まりに伴い、試験的運用も含めたオンプレミス環境での生成AI（クローズドAI）活用が加速。
 ● 中間期に引き続き一般送配電事業者からの大型案件を受注。原子力発電業務も堅調に推移。
 ● 前年の医療分野の不採算案件の影響が解消したことにより、営業利益は前年比で増加。その他分野は基礎的な収益力に沿い順調に推移。

産業技術	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年比	
	売上高	1,299	1,733	133.5%

● 全ビジネス分野で売上高、営業利益ともに二桁成長。特にIoT(AI)はCagou IT点呼、スマート遠隔保全ソリューションで大幅な売上増。
 ● クラウド型点呼システム「Cagou IT点呼」が業務前自動点呼機器として国土交通省から認定。自動車運送事業者の働き方改革に貢献。
 ● 東京データプラットフォーム 令和7年度ケーススタディ事業に採択された「フェーズフリーの地域密着型情報配信プロジェクト」が実証を開始。世田谷区、狛江市、調布市で、平時・有事を合わせた地域情報を配信。

顧客業務	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年比	
	売上高	673	608	90.3%

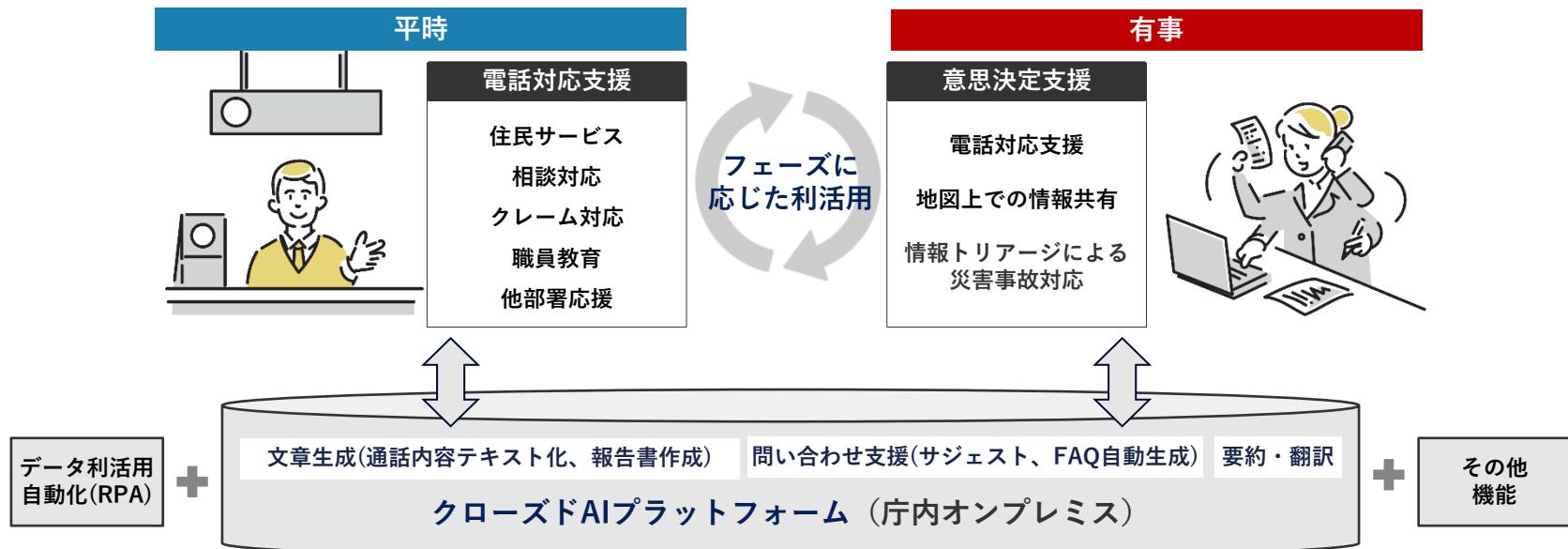
● グロースエンジン事業への業務シフトが引き続き進行、成長領域への注力を継続。
 ● 金融業務の大型案件収束の影響で売上高は減少。

公共DXソリューション

- クローズド環境で利用可能な生成AIを活用し、自治体が抱える慢性的な人員不足や、異動によるナレッジ低下・属人化といった課題を解消し、行政サービスの品質向上を支援。
- 平時・有事の双方で使えるフェーズフリーの情報プラットフォームを公共DXソリューションとして体系化し、高付加価値化を図る。

公共DXソリューション

クローズドAIを核に平時・有事の双方で活用可能な「公共DXソリューション」として体系化





貢献するSDGs



IoT (AI)



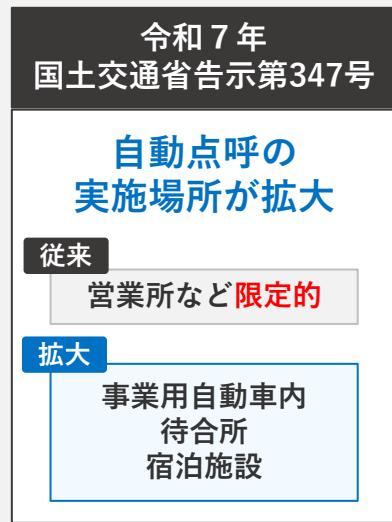
産業技術

クラウド型点呼システム Cagou IT点呼

- 令和7年国土交通省告示第347号による規制緩和を受け、自動点呼の適用範囲が拡大。「Cagou IT点呼」は新要件に対応し、業務前自動点呼機器として国土交通省の認定を取得。規制緩和と認定取得を追い風に、拡大する需要を確実に取り込み、競争優位性と販売拡大を図る。
- 点呼業務の効率化により、多様な勤務形態や運行環境に対応。運行管理者・運転者の労働時間を大幅に削減し、物流業界の人手不足解消と働き方改革に貢献。

Cagou IT点呼

規制緩和と認定取得を追い風に、拡大する需要を確実に取り込み競争優位性を強化



地域密着型情報配信プラットフォーム

- フェーズフリー（平時・有事を問わない）の地域密着型情報配信プラットフォームが、東京都デジタルサービス局が実施する東京データプラットフォーム（TDPF）令和7年度ケーススタディ事業に採択。
- CATV網およびデジタルサイネージを活用した情報伝達手段により、デジタルに不慣れな住民にも平時・有事のきめ細かな情報を届けることで、地域コミュニティの活性化と防犯・防災意識の向上を目的とした実証を実施。
- 次年度以降の自治体展開を視野に、2026年3月末を目標とした有用性検証を実施中。

地域密着型情報配信プラットフォーム ~「フェーズフリーの地域密着型情報配信プロジェクト」実証の概要~

平時から発災時まで、途切れることなく情報を届ける“フェーズフリー”な伝達手段として技術検証を実施

実証実験の概要



配信情報のイメージ





貢献するSDGs

宇宙テック 産業技術

ドローンサービス ChronoSky / みちびき受信機 Cohac[®]

- 株式会社アークエッジ・スペースより、JAXA 事業「低軌道測位衛星システムの要素技術及び関連するシステムの検討」の一部業務を受注。
- 総務省東海総合通信局および東海情報通信懇談会が共催する「情報通信フロンティアセミナー／日本の衛星測位システム『みちびき』7機体制による本格稼働へ」ならびに、第69回宇宙科学技術連合講演会に参加。弊社のみちびき対応高精度測位ソリューションや、高精度時刻同期に関する研究開発成果を発表。

低軌道測位衛星システムのプロジェクトに参画

「低軌道測位衛星システム LEO-PNT の研究開発プロジェクトに参画」
(2025年10月8日 当社ニュースリリース)

News Release



2025年10月8日
株式会社コア

低軌道測位衛星システム LEO-PNT の研究開発プロジェクトに参画

株式会社アークエッジ・スペースより JAXA 事業の一部業務を受注

株式会社コア（本社：東京都世田谷区、代表取締役 社長執行役員：横山 浩二）は、株式会社アークエッジ・スペース（本社：東京都江東区、代表取締役 CEO：福代 孝良）より JAXA 事業「低軌道測位衛星システム（Dedicated LEO PNT）の要素技術及び関連するシステムの検討」の一部業務を受注し、低軌道測位衛星システムの事業に参画することとなりましたのでお知らせいたします。

■背景

近年、米国や欧州を中心に LEO（Low Earth Orbit）衛星を活用した PNT（Positioning, Navigation, Timing）の研究開発が加速しています。

従来の GNSS（GPS, Galileo 等の中軌道衛星、QZSS の準天頂軌道衛星）は、地球表面に到達する信号強度の弱さから各種干渉の影響を受けやすく、特に昨今、ジャミング（妨害）やスゾーフィング（欺瞞）等の脅威が顕在化してきています。

LEO 卫星による頑健かつ代替的な測位信号の配信は、次世代インフラの重要なテーマのひとつとして注目されています。

■LEO-PNT とは

LEO-PNT は「Low Earth Orbit Positioning, Navigation, and Timing」の略で、低軌道衛星（LEO）を活用した測位・航法・時刻同期サービスを指します。

従来の PNT サービスは主に GPS, GLONASS, Galileo, BeiDou などの中軌道衛星（MEO、高度約 20,000km）や QZSS の準天頂軌道衛星（QZO、高度約 32,000~39,000km）によって提供されてきました。

<https://www.core.co.jp/news/989>

セミナーおよび学会での発表の様子

情報通信フロンティアセミナー



第69回 宇宙科学技術連合講演会



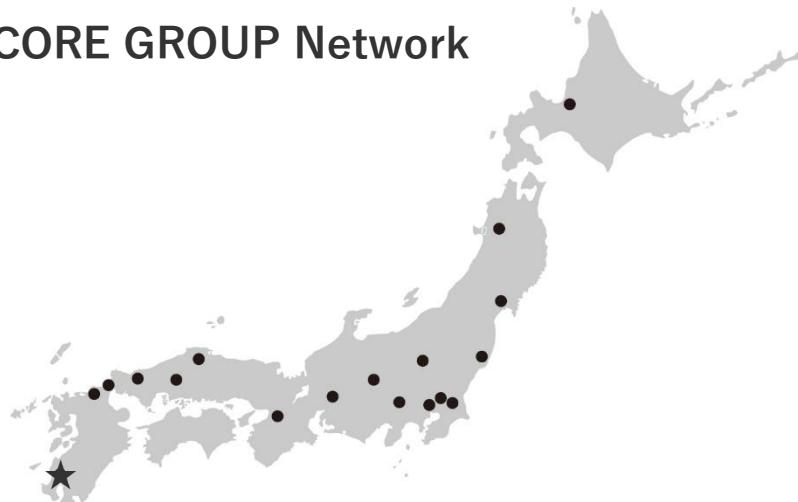
- 2025年12月24日付けで「株式会社ソフト流通センター（以下、「SRC社」）」の全株式（同社保有の自己株式を除く）取得を決議し子会社化。これに伴い、同社の子会社である「株式会社システムファクトリーかごしま（以下、「SFK社」）」は当社の孫会社となり、新たに2社がコアグループに参画。
- 鹿児島県を拠点とする2社のM&Aにより九州、特に南九州エリアにおける公共、医療、IoT（AI）、半導体市場等での事業強化を推進し、新規ソリューションの共創、人材の確保・交流、事業地域の拡大といった様々な点における相乗効果が見込まれ、今後の企業成長に大きく貢献することを期待。



<2025年3月期経営成績概要>

	SRC社	SFK社
売上高	12.8億円	1.2億円
営業利益	1.0億円	0.1億円
経常利益	1.2億円	0.1億円
純利益	0.7億円	0.08億円
総資産	7.8億円	0.8億円
純資産	5.6億円	0.7億円
自己資本比率	71.6%	87.9%
社員数	113名	22名

CORE GROUP Network



本資料に含まれる計画や業績見通し等は、現時点における情報をもとに、当社が計画・予測したものであり、今後の経済動向や市場環境等の様々な条件・要素により変動する可能性があります。

そのため、実際の業績がそれらの記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承ください。

株式会社コア

〒 154-8552 東京都世田谷区三軒茶屋1-22-3 コアビル

 03-3795-5111

 www.core.co.jp